



学校という「小さな社会」をより良くするために



「学校は小さな社会」とよく言われます。学校には、勉強をする場としての役割だけではなく、様々な人が関わり合いながら生活する「社会」としての側面があります。学年・クラスの仲間や先生方、後輩や先輩との関係の中で、私たちは日々多くのことを学んでいます。そして、その「小さな社会」をどのようにするかは、そこにいる一人ひとりの行動によって決まります。そのため、皆さん自身の力で、学校をより良い社会にしてもらいたいと思います。

このような話を聞いた時、今皆さんがいる学校という「小さな社会」は、全員にとって居心地の良い社会になっていますか？ 反対に居心地の良い社会とはどんな社会でしょうか？ 例えば、テレビのゴシップニュースやSNSを見ているかのように、廊下などで誰かの失敗や出来事を面白がるような光景を見たことはありませんか？ 具体的に言うと、「〇〇さんが授業中にこんなミスをしていたよ」「〇〇さんが先生に呼び出されたよ」などといった話を、まるで娯楽のように話題にし、さらには事実ではないことまで話を膨らませて広げてしまうといった感じです。そうした噂話の当事者となった人の気持ちを考えたことはあるでしょうか。ちょっとした笑い話のつもりでも、当事者にとっては深く傷つくこともあります。「自分が同じ立場になったらどう思うか」、そう考えることができれば、何気なくしている行動がどれほど人を傷つけるかに気付くはずですよ。

人の不幸や苦しみを楽しんでいるような社会では、誰も安心して暮らすことはできません。誰かが失敗したときにそれを笑いものにするのではなく、「大丈夫？」と声をかけるような環境のほうが、きっと居心地が良いはずです。また、一人ひとりがもつ個性を否定するような空気があれば、それは争いの原因にもなります。「なんでこんなこともできないの？」「普通はこうだよ」など、そうした言葉が、人を追い詰め、時には人間関係の大きなトラブルへと発展してしまうこともあります。お互いを認め合うことができれば、学校という社会は窮屈なものになってしまうでしょう。

先月、学年末考査の最終日に「障がい者支援に関する講演会」を行い、先週の道徳地区公開講座では、「心に寄り添うとはどういうことか」について考えました。講演会では、一人ひとりが違いをもっており、その違いを認め合うことが大切であることを学びました。また、道徳の授業では、「相手の立場になって考えること」「人の痛みや苦しみに寄り添うこと」について考えました。こうした学びは、私たちが「より良い社会をつくるために何ができるか？」を考える大きなきっかけになります。私たちは、一人ひとりが異なる個性をもつからこそ、支え合いながら生きていくことができます。お互いを尊重し、困っている人には手を差し伸べられる世の中になってもらいたいと思っています。

社会全体を変えることは簡単なことではありません。しかし、学校という小さな社会は、そこにいる一人ひとりが当事者意識をもつことで、確実に変えることができます。自分には関係のないことだと思わずに、「この学校を、みんなにとって居心地が良い場所にするために、自分には何ができるのか？」と考えてみてください。小さな行動の積み重ねが、学校という社会を温かいものに変えていきます。

そして、もう一つ大切なことは、「正しいことは正しいと言える社会」にすることです。間違っていることを見ても黙っているのではなく、「それは違うよ」と伝えられる勇気をもつことが、より良い社会をつくる第一歩になります。誰かを傷つける言葉が飛び交っているとき、見て見ぬふりをするのではなく、「そういう言い方はよくないよ」と伝えるかどうかです。それが、学校と言う社会を居心地の良い場所にするために必要な姿勢です。

一人ひとりが思いやりの気持ちを持ち、お互いの違いを尊重し、支え合うことで、学校はもっと優しく、安心できる場所になります。まずは身近なところから、自分の言葉や行動を振り返り、より良い社会をつくる一歩を踏み出してみませんか？



金融教育を行いました



2月と3月の2回に分けて「金融教育」を実施しました。これから先の長い人生を過ごす上で、何にどのくらいお金がかかるのか、計画的なお金の使い方や投資など、資産運用について、銀行関係者の方を講師として迎えて学習を行いました。何事にもお金がかかる社会ですが、今回の学習を参考にして、上手なライフプランを立てていけると良いですね。



■皆さんへの連絡

- ①19日(水)に卒業式があります。今年度は入学式と同じように、在校生全員が体育館に入って参加します。卒業式は「儀式的行事」であるため、ネクタイ・リボンの着用はもちろん、靴下もスラックスは白ソックス、スカートは紺色のハイソックスになります。しっかりとした服装で式に臨み、3年生の門出を一緒にお祝いしましょう。
- ②25日(月)は大掃除です。机やロッカーの中の私物は全て持ち帰りになります。一度に全て持ち帰ると荷物が大変なことになるので、最終授業を迎えた段階から荷物を持ち帰りましょう。

■来週の予定 (3/17(月)～3/21(金))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
3/17 (月)	A	学活	美術	卒業式 予行		学活		ネクタイ・リボン・靴下注意！ 職員会議
	B		理科 1					
	C		社会					
3/18 (火)	A	理科 1	英語	社会	英語	卒業式 準備		給食（終）
	B	理科 2	国語 1	英語	美術			
	C	英語	理科 2	美術	社会			
3/19 (水)		第52回 卒業式						ネクタイ・リボン・靴下注意！ 給食なし
3/20 (木)		春 分 の 日						
3/21 (金)	A	音楽	英語	学活				保護者会 給食なし
	B	英語	音楽					
	C	英語	理科 1					

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。太字は今年度最終授業の教科です。

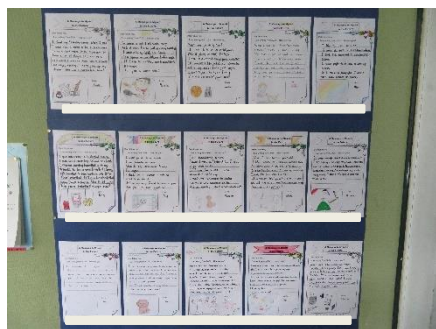
校内作品展がありました！



3月7日（金）から10日（月）にかけて、校内作品展が開催されました。校内作品展は毎年柳沢中で行われている行事であり、各教科や総合的な学習の時間で制作した作品を校内に展示しています。生徒たちはもちろん、保護者の方々にも皆さんが制作した作品をお披露目し、日頃の学習の成果を“作品”という形で発表する大切な行事です。

同じ学年の仲間たちの作品はもちろんですが、1年生や3年生の作品を鑑賞して、参考になった部分も多いと思います。自分が苦労して作った作品が展示されることで改めて達成感を得られることもあります。お互いの作品を鑑賞し合うことで、「次はこうしてみよう」というアイデアが生まれます。また、「3年生になるとこういう作品を作るんだ」という先の見通しをもつこともできます。ぜひ、来年度の校内作品展も充実したものになるように、今後の作品作りも頑張っていきましょう！

校内作品展の展示一覧



【英語】A Message to Myself in the Future



【技術】ポケットライト・木製チューブラジオ



【家庭】我が家の自慢料理

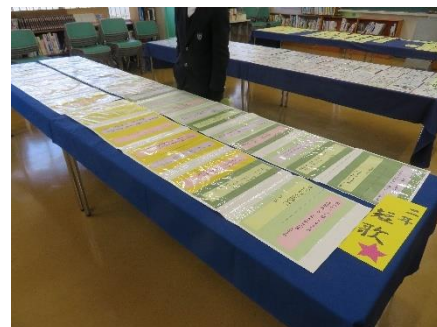
【総合】職場体験個人新聞・都内巡りスライド



【家庭部】活動の中で制作したぬいぐるみやトートバッグなどが展示されました。



【社会】都道府県新聞



【国語】書き初め（市内作品展出品作品）・自分を励ます言葉・短歌



【美術】風景画・自分と向き合う・一版多色刷り版画



自分たちの作品はもちろん、1・3年生の作品にも興味をもって鑑賞していました。

今年度もたくさんの作品が展示され、充実した校内作品展になりました！